

平成 24 年 7 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社 ネット イン デ ッ ク ス
代 表 者 名 代表取締役社長 秋山 司
(J A S D A Q ・ コード 6634)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 代表取締役副社長兼経営企画部部长 石原 直樹
電 話 03-6880-9811

中期経営計画策定に関するお知らせ

株式会社ネットインデックス及び当社グループは、平成 25 年 7 月期を初年度とする中期三ヵ年経営計画（平成 24 年 8 月～平成 27 年 7 月）を策定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画策定の背景

当社は不採算部門の売却をはじめ早期希望退職の募集等による人件費の圧縮や販売費及び一般管理費の削減に努める一方で、平成24年6月18日公表の「第三者割当による新株式発行及び第2回無担保転換社債型新株予約権付社債発行並びに第10回新株予約権発行に関するお知らせ」のとおり新たな資本政策を策定・実行し、当社の収益基盤の確立と成長の実現のため、財務体質の健全化、及び営業キャッシュ・フローの改善による事業基盤の再構築を進め、新たなビジネス領域の拡大を図っております。

同時に当社は、イー・旅ネット・ドット・コム株式会社及び子会社(以下「イー・旅ネット・グループ」といいます。)を連結子会社化いたしました。

当社はモバイルショップ事業を譲渡して以降、エンドユーザーに対する販売チャネルを持っておらず、販売チャネルの構築は喫緊の課題でありましたが、イー・旅ネット・グループを連結子会社化することで、優れたウェブ・マーケティングのノウハウ（プロモーション立案と集客オペレーション、ウェブのアクセス解析、顧客調査による商品・価格戦略、広告の効果測定、SNS対策等）を共有し、当社の潜在顧客となりうる顧客層に対し販売促進効果を持ち、且つランニングコストの少ない無店舗形態での効率的な販売網の構築を速やかに実現することが可能となりました。これにより、上記ノウハウを共有することで、ターゲットとする顧客層にピンポイントに効果的なマーケティング調査を行い、情報通信関連市場におけるエンドユーザーを意識した高付加価値の通信端末機器を開発していく事が可能となります。

一方で、当社は中国の子会社設立に着手しております。当該子会社の設立により、売上高6割超を占めている中国におけるODM委託先と連携して品質管理の強化を行うとともに、ODM委託先との関係強化や交渉力強化を通じて競争力を高めることと、急激な成長を見せる中国の通信事業市場において、日本市場に適合した画期的な商材や技術を競合他社よりも早期に導入し優位性を確保することが可能となると考えております。

さらに、当社は、本日公表の「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、今後の成長戦略に基づき経営資源の効率的な運用を目指すことを目的に、当社主力事業であるデバイス事業を構成する業務に対して事業仕分を実施すると同時に、今後の成長戦略から外れた業務に係る販売組込用のソフトウェアをはじめとする資産を財務健全性の観点から厳しく再評価し、減損処理することで特別損失として、事業構造改革関連損失309百万円を計上する予定です。

上記を踏まえ開発投資や営業活動を活発に実施するための財務基盤の整備ができたことから、当社の

営業黒字化の必達及びV字回復を果たすために、後述の中期経営計画を策定いたしました。

2. 中期経営計画（連結ベース）

当社は来期をV字回復への第一歩を踏み出す重要な事業年度と捉え、期初から月次ベースでの経常黒字化を達成し、目標とする売上高達成のために、新たな販路の開拓に努める一方で、販売費及び一般管理費を費目ごとに精査して圧縮する計画を基礎として、来期は増収増益、ならびに経常利益率2%を確保することを目標にしております。来々期には、経常利益率をさらに改善し、本計画最終年度となる、2015年度におきまして、連結売上高70億円、連結営業利益3億円（経常利益率4%）の達成を目指してまいります。

デバイス事業は中国におけるODM委託先との連携を更に強化しかつ当社の技術力によりODM委託先をより活用することで、コンシューマ向けとして、より消費者ニーズの高い製品の市場投入を促進し、またMtoMの分野では新規顧客の開拓、その顧客ニーズに適合した製品開発を進め、デバイス関連技術で先進的な中国の技術を活用して日本に導入するとともに、中国市場のマーケット需要をリサーチし日本の優れた技術を活用した製品をODMで中国市場に供給してまいります。

旅行事業におきましては、イー・旅ネット・グループは、大手旅行業者が乱立するなかで、コンシェルジュという肌理の細やかな提案できる幅広い人材をそろえ、企画旅行事業の集積といえる事業体であり、今後も売上高の成長率が2桁で推移することを目標にしております。

以 上